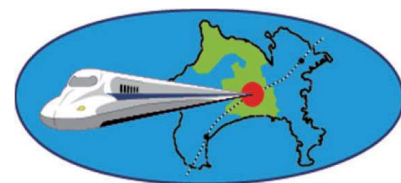


県央・湘南の 環境と共生する 都市づくりNEWS

新幹線新駅の実現を目指す、環境共生の都市づくり通信

No.46

平成29年 3月



- 2 ページ 講演会「2つの超高速鉄道の『使い方』」を開催しました
4 ページ「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール

「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」 絵画コンクール 平成28年度受賞作品

神奈川県知事賞



低学年の部 井手 理心 さん
(平塚市立吉沢小学校1年)



中学年の部 矢野 遼大 さん
(寒川町立南小学校4年)



高学年の部 横山 和 さん
(平塚市立吉沢小学校5年)

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県・相模原市・平塚市・藤沢市・茅ヶ崎市・厚木市・伊勢原市・海老名市・座間市・綾瀬市・寒川町・県市長会・県町村会・県商工会議所連合会・県商工会連合会

講演会「2つの超高速鉄道の『使い方』」を開催しました

東海道新幹線新駅・リニア中央新幹線・相模線の3同盟会は、県央・湘南都市圏の鉄道整備を連携して促進していくため、共同で講演会を開催しました。

当日は、大阪産業大学の波床正敏教授から、将来、東海道新幹線新駅およびリニア中央新幹線県内駅が設置された場合に考えられる2つの超高速鉄道のあり方について、ご講演いただきました。

また、会場では、各同盟会のパネル展示等を行いました。



開催日：平成29年1月13日（金）

会 場：海老名市文化会館 小ホール

主 催：神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会
リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会
相模線複線化等促進期成同盟会

プログラム

主催者挨拶 神奈川県 鈴木都市部長

同盟会取組紹介 神奈川県 峯村環境共生都市課長

講演 大阪産業大学教授 波床 正敏 氏

主な内容

〈新幹線の効果と駅周辺のまちづくり〉

- ・新幹線には、高速道路や空港では実現できない大都市圏をつくり出す効果がある。例えば新横浜では、利用者増、停車本数増、周辺地域の高度化、そして利用者増という好循環により、50年かかって現在のまちができた。
- ・このような効果を生むためには、駅周辺のまちづくりの方針が大切で、単なる郊外開発ではなく、新幹線のメリットを受けられるような開発が重要である。



〈倉見地区に新幹線新駅ができたときの利点〉

- ・倉見地区に新駅ができると、つくばエクスプレスのように、都心方面への通勤に利用できる。

〈新駅誘致の進め方〉

- ・新駅誘致の取組みを進めるには、自治体や鉄道会社が費用や便益について住民にしっかりと説明し、理解してもらうことが重要である。

〈その他〉

- ・新幹線の効果を最大限発揮するためには、新幹線までのアクセス交通が高速であり、かつ環境負荷が少ないことが大切である。

各同盟会のパネル展示等を行いました



新幹線新駅を寒川町倉見に！

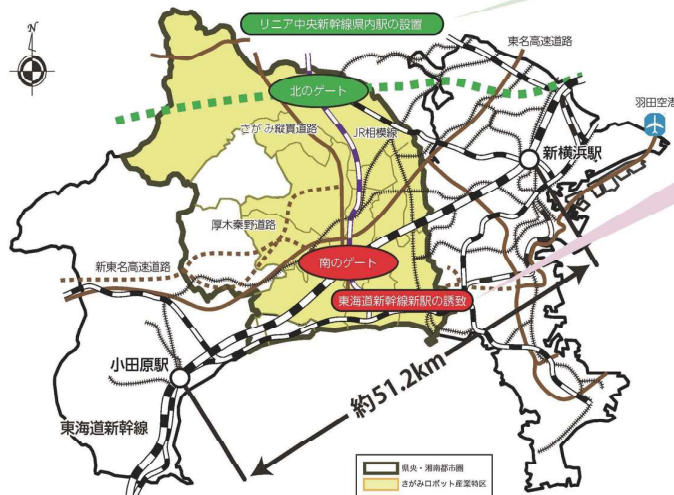


県央・湘南都市圏における「南北ゲート」の形成

県央・湘南都市圏は、面積および人口において本県全体の約3割を占めており、さまざまな産業や研究機関などの集積が進んでいます。

この都市圏では、全国との交流・連携の窓口となる、リニア中央新幹線県内駅を核とする「北のゲート」と、誘致を目指す東海道新幹線新駅を核とする「南のゲート」の形成に取り組んでいます。

また、南北ゲートを繋ぐJR相模線の複線化等の南北交通軸を強化することにより、この都市圏の一体性の向上、新たな活力の向上を目指しています。



リニア中央新幹線県内駅設置（北のゲート）

「リニア中央新幹線」は、時速500kmで走行する超電導リニアを導入して、品川駅を起点とし、名古屋駅を経て、大飯市を終点とする延長約438kmの新幹線です。神奈川県内の駅は、相模原市緑区の橋本駅南側の地下に設置されます。

平成26年 品川・名古屋間
工事実施計画を認可
平成39年 品川・名古屋間 開業予定

※現在、沿線各地で工事が進められています。



東海道新幹線新駅の誘致（南のゲート）

寒川町倉見地区に誘致している東海道新幹線新駅の実現により、全国との交流・連携の窓口となる「南のゲート」が形成されます。

県では、県中央部10市町および経済団体などと「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」を設置し、新駅誘致に取り組んでいます。

また、寒川町と相模川を挟んだ対岸の平塚市において、新駅の受け皿となるツインシティのまちづくりが進められています。

ながへい駅間距離

新橋浜駅～小田原駅間の距離は、約51.2km。これは、東海道新幹線の中で、2番目に長い駅間距離です。

その中間に位置する寒川町倉見地区への新駅設置は、人口や産業の集積状況からみても必要だと考えます。



東海道新幹線新駅の可能性を高めるリニア中央新幹線

【新駅設置に向けた最大の課題】

・東海道新幹線の列車ダイヤに余裕がない。

↓ リニア中央新幹線が開業する。

・現在「のぞみ」が担っている役割がリニア中央新幹線に移行することで、東海道新幹線の列車ダイヤの構成に余裕が生じる。

↓ 新駅設置に向けた最大の課題が解決する。

・東海道新幹線新駅設置の可能性が高まる。

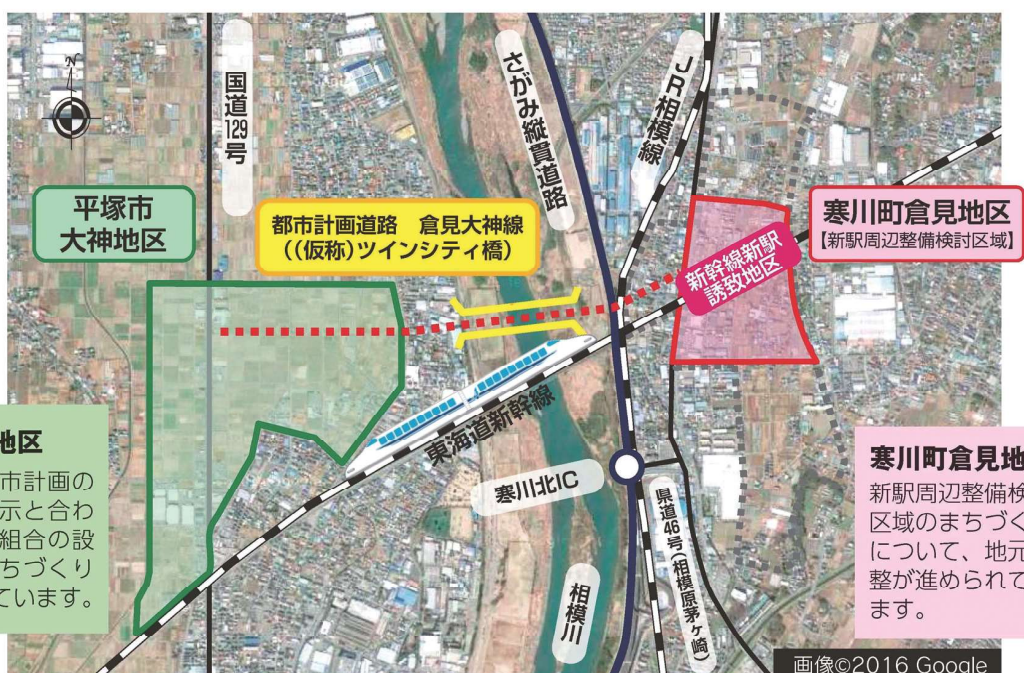
新幹線新駅の受け皿となる



「ツインシティ」のまちづくり

「ツインシティ」とは？

新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区と、相模川を挟んだ対岸の平塚市大神地区を新たな橋「(仮称) ツインシティ橋」で結び、川の東西両地区を一体化した双子の都市のことです。



平塚市大神地区

平成27年8月に都市計画の決定および変更告示と合わせて土地区画整理組合の設立が認可され、まちづくりが着実に進められています。

寒川町倉見地区

【新駅周辺整備検討区域】

寒川町倉見地区

新駅周辺整備検討区域のまちづくりについて、地元調整が進められています。

画像©2016 Google

※この他のパネルにつきましては、同盟会ホームページ（アドレスは4ページに記載）をご覧ください。

「夢はこぶ新幹線・私たちの未来のまち」絵画コンクール

新幹線を身近に感じてもらい、新駅誘致の取組を広く知っていただくため、平塚市、寒川町の小学生を対象に絵画コンクールを実施しました。【応募：29校、作品数：854作品】
選考の結果、各賞を受賞した12作品を紹介します。

平塚市長賞



低学年の部 金子 実晴 さん
(平塚市立みずほ小学校 2年)

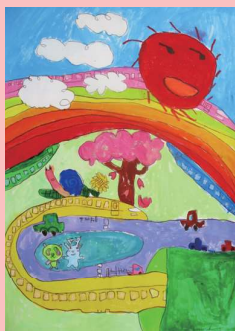


中学年の部 佐藤 寧音 さん
(平塚市立大原小学校 3年)



高学年の部 奥津 貴博 さん
(平塚市立吉沢小学校 6年)

寒川町長賞



低学年の部 村上 光瑠 さん
(寒川町立寒川小学校 1年)



中学年の部 青柳 怜空 さん
(寒川町立南小学校 4年)



高学年の部 竹内 聖斗 さん
(寒川町立旭小学校 6年)

ツインシティ賞



低学年の部 梅津 太一 さん
(寒川町立寒川小学校 2年)



中学年の部 奥津 美紀 さん
(平塚市立吉沢小学校 4年)



高学年の部 大関 楓花 さん
(寒川町立寒川小学校 6年)

応募作品の展示会、入賞者の表彰式を行いました

平塚市美術館

展示会：平成28年10月27日～30日
表彰式：平成28年10月30日

応募作品
24校518作品

寒川町民センター

展示会：平成28年11月25日～12月1日
表彰式：平成28年11月27日

応募作品
5校336作品



神奈川県 県土整備局 都市部 環境共生都市課

電話045-210-6033 FAX045-210-8879 E-mail (下記ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。)

期成同盟会ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p19860.html>
同盟会についてもっと詳しく知りたい方は、ホームページをご覧ください！

新幹線新駅同盟会

検索